

(株)こもりコーポレーション (東京都中央区)

著名デザイナーとコラボし

「銀河鉄道の夜」の世界観を描いた位牌

線香・ろうソク、念珠、位牌、仏具、葬祭用品などを取り扱う(株)こもりコーポレーションは、このほどプロダクトデザイナー・絵本作家のシンジカトウ氏が描いた位牌を同社の「絆」シリーズに加えた。

同位牌は、童話作家・宮沢賢治の代表作「銀河鉄道の夜」の幻想的な世界観と、愛らしくキュートなイラストで知られるデザイナー・シンジカトウ氏のアートを融合させたもの。銀河鉄道の夜をイメージした各シーンをモチーフに、星空や列車、キャラクターが祈りの時間にやさしく寄り添う2種類の絵柄の蒔絵を施している。

この絵柄を取り入れた位牌は、販売実績のある「新世紀蒔絵位牌 優雅」、2012年にグッドデザイン賞を受賞した「新世紀位牌 優徳」の2つで、モダン仏壇やインテリアにも自然とマッチするのが特徴。

蒔絵は、石川県金沢市の伝統工芸である加賀蒔絵の職人が純金粉、プラチナ粉、光彩粉、エルジー粉（メタリックパウダー）を用いて仕上げている。

対象顧客は、宮沢賢治や銀河鉄道の夜に特別な想いをも



つファンを主に想定しているが、家族とともに想いを共有したい若い世代やデザイン感度の高い層にも訴求していく。

TEL 03-3666-8886

Next Funeral Lab (東京都港区)**葬儀経営者コミュニティ「Next Funeral Lab」****第2回勉強会を開催**

葬祭業界に特化した顧客管理システム「スマート葬儀」などを提供するLDT(株)は、2025年4月に立ち上げた葬儀経営者コミュニティ「Next Funeral Lab (N.F.L.)」の第2回勉強会を25年11月7日、東京・表参道のIDOLで開催した。

同コミュニティは、「日本の葬送文化を大事にしつつ、顧客に喜ばれるサービスを提供する」という目標を掲げ、次世代の葬祭業界のあり方や経営戦略などについて定期的に勉強会を行なうべく発足した。

葬儀社や関連事業者など30人超が参加した第2回は、「なぜあの会社は成長したのか？ 決算書に隠された、事業拡大のヒント」をテーマに(株)エンディング総研代表取締役の小泉悟志氏が講演。葬祭会館2か所、従業員18人の時点からコンサルティングを開始した葬儀社を事例に、生花部門の内製化や、出店＋「広告費と減価償却費を合わせて売上げの10～13%投資」の経営方針を実行した結果、施行件数600件超を実現した戦略について決算書を提示しながら説明した。さらに、事業再構築補助金の活用、エリア内でのM&Aと子会社配当の活用、上位プランを明示する



商品設計、SNSを使ったセグメント配信など、今後の事業拡大に向けた具体策が共有された。

休憩後は小泉氏とLDT代表取締役CEOの白石和也氏とのトークセッションに移り、コンサルティングの失敗事例から学んだことや葬儀社経営を成功させるための定石、今後の採用戦略などについて対談した。終了後には交流会が行なわれ、積極的な情報交換がなされた。

TEL 03-5843-8505 FAX 03-6800-5820

イワタ(株) (東京都江戸川区)



東京都「経営革新計画」

令和7年度の最優秀賞を受賞

イワタ(株)は、東京都産業労働局が実施した「令和7年度経営革新計画」において最優秀賞を受賞した。同社は、エンバーミング薬品や遺体処置薬品・道具、脱脂綿、除菌剤等の遺体処置全般に関わるメーカー兼商社である。

経営革新計画は、東京都内の中小企業が新事業活動に取り組み、経営の相当程度の向上を図ることを目的に策定する中期的な経営計画書である。

同社は、「亡くなった方を生前に近い姿に戻す遺体処置用品の製造販売」をテーマにした計画で応募し、豊富なラインナップの新商品をつくり出す開発力と、顧客ニーズの



把握から販売までトータルに対応できる即応力を発揮して売上げを伸ばしたことが評価され、都知事が承認した340社中、唯一の最優秀賞だった。

TEL●03-3616-1234 FAX●03-3616-4649

(一社) 全国高齢者等終身サポート事業者協会 (東京都千代田区)



設立記念フォーラムを開催し

会場・オンライン含め約560人が参加

2025年11月26日、「全国高齢者等終身サポート事業者協会（全終協）」の設立記念フォーラムが東京・麹町のJA共済ビル カンファレンスホールで開催され、会場265人、オンライン約300人を合わせて約560人が参加した。

全終協は、身寄りのない高齢者らの身元保証や生活支援、死後事務などを請け負う「高齢者等終身サポート事業」について、国内初となる業界団体として設立された。正会員・準会員に求める審査基準を策定し、外部審査委員会を含めた審査委員会が入会審査を厳正に行ない、事業者の増加とともに消費者トラブルがふえる業界の品質向上を目指す。



当日は、前財務大臣で衆議院議員の加藤勝信氏をはじめ国会議員や全終協を後援する厚生労働省の局長が来賓祝辞を寄せたほか、正会員の入会審査基準の説明やパネルディスカッションなども行なわれた。

(株)つえ屋 (京都市西京区)



故人へのメッセージを本体に納められる

納棺用杖「ありがとうの杖」

京都を中心に全国でステッキ・杖の専門店を展開する(株)つえ屋は、納棺ができる杖「ありがとうの杖」を販売している。

従来の木製の杖は、接合部にねじや金具が使用されたり、杖先にゴムが付いているため副葬品として燃やすことができなかった。しかし、同商品は接合部にねじや金具を使用していないため副葬品に使用でき、故人が生前に使用していた遺品として棺に納められる。ただし、セレモニー用として開発しているため、通常の歩行補助用としては使用できない。



本体には故人への感謝の言葉などを書き込んだ書簡紙を筒状に丸めて納めることが可能。杖のサイズは長さ67cmで重さ115g、書簡紙のサイズは19cm×15cm。

TEL●075-221-9988 FAX●075-221-9977